

改革ネット仙台

問 郵便局の窓口で市税を納付することができないが、市民が利用しやすい納付環境を整えるべきではないか。
答 収納環境も大きく変化しており、様々な課題もある。社会の変化に即応した収納体制づくりに精力的に取り組んでいく。
問 導入の際の周知に問題があった市の土地利用調整制度
野田 譲 委員

問 宮城陸上競技場旧サブトラック問題に関する県との協議は、将来、市営陸上競技場として、市が管理運営していく方針を県に納得してもらえないように進めるべき。
答 今後の協議の中で、利用者の不便にならないという基本的な視点に立ち、管理のあり方も含めて交渉し、あるべき結果を導き出したい。
鈴木 繁雄 委員

問 市及び外郭団体職員1万3339人中、2485人が市外居住者だ。最近、納税者就業者人口の減少がみられるが、市民税確保及び地方自治体の本来的な自立のために、市外居住職員に対し、市内在住を勧めるべきでは。
答 災害への対応等の面からも可能な限り努力するが、居住の問題には、一定の制約があることも理解願いたい。
問 固定資産税の高額負担が、市街地空洞化の大きな要因である。法律改正により、条例での減額措置が可能となったが、予算編成時期に入り、市長は、条例提案を行うかどうか表明すべきでは。
答 平成十八年度は固定資産の評価替えによって大幅な

問 減収が見込まれる厳しい状況にあることから、現段階の負担水準の引き下げは困難と認識している。しかし、今後は、商店街の方々などの生の声を謙虚にお聞きしたい。
岡部 恒司 委員

問 高齢者に悪質商法の情報を地域で伝える仕組みづくりや消費者相談などの窓口一本化を早急に検討すべき。
田村 稔 委員

問 合計特殊出生率が低下し、女性が子どもを産み育てやすい施策の根本的な見直しや本市独自の施策を考える必要があるのでは。
答 子育ての価値に人々がもつて重きを置く社会に変えていく必要がある。他国、他の自治体等の事例をよく分析し、できるだけ効果的な組み合わせで政策を実行していく。自宅で子育てをする家庭と保育所入所家庭との育児支援制度の格差についても、大内 久雄 委員

問 幹線水路改修等の事業費繰越しの理由、内容について用地取得に着手した仙台東部地区治水対策整備事業の完成に向けた市としての今後の対応について
答 都市計画街路事業、宮沢根白石線、一狐小路尼寺線の整備並びに東日本鉄道株式会社との協議及び今後の見直しについて
荒井 周平 委員

決算等審査特別委員会

みらい仙台

問 市民の健康増進を社会全体として、サポートする施策が必要だが、市長の決意は。
答 個人の自己管理を基本とした多様なニーズに応えられる環境整備が必要である。いきいき市民健康プランと体育指導員の活用策
熊谷 善夫 委員

問 外郭団体への補助金増加についての今後の対応策は。
答 外郭団体の役割や目的等の検証を行い、一層の事業統合化・重点化等に取り組む。
問 他政令市と比較して、本市の財政状況の評価を伺う。
答 概ね中間的な位置だが、厳しさが相当増している。
橋本 啓一 委員

問 区役所への権限、事務分担、予算の移譲により、地域ごとの独自性を発揮すべき。
答 権限移譲や組織の見直し等、更なる独自性の発揮に向け、積極的に進めていく。路上などのごみ集積所対策、個人情報を守るための住民基本台帳の取扱いについて
鈴木 勇治 委員

問 日本一元気な市民を育てるため、市独自の総合グラウンドをつくる考えはないのか。
答 宮城県に頼らない施設建設は、新たな課題と認識しているが、まずは当面の県との協議に全力を尽くしたい。
渡辺 芳雄 委員

問 ニーズ等に合わせた的確な整備が必要と考え、地元主体の委員会で検討中である。国際化推進のため外国籍市民の意見も反映するべき。
答 今後は視覚に過度に依存しないごみ政策を目指す。資源物回収コスト削減に向け、回収方法を見直しは安孫子 雅浩 委員

問 今後新しく高齢者となる団塊世代を想定した生きがい対策への取り組みを伺う。
答 従来の趣味的活動から社会・地域貢献活動への支援等まで、新しい高齢者の生きがいづくりにつながる魅力的で多様な事業を検討したい。
横田 匡人 委員

問 失業者率上昇やフリーターの増加等、雇用の不安定さ
答 失業者率上昇やフリーターの増加等、雇用の不安定さ



緑豊かな都市空間(写真は青葉通)

問 「百万本植樹」を目指す政策を打ち出した市長の考え方について伺う。
答 ケヤキに限らず高木や低木等、多様な樹種を含めたもので、市民協働により、緑豊かな都市空間を創出して、魅力ある都市づくりをしたいという強い思いを抱いている。百年の杜づくりの理念とは都市戦略としての百年の杜目標達成に向けての施策

問 収入未済額の多い市営住宅使用料や保育料について、コンビニ収納・カード決済を導入すべき。
大泉 鉄之助 委員

問 市長は、市政の問題点をどこにあり、その解決策は正しは何をどのように行っていくと考えるのか伺う。
答 歳入が低迷する一方、歳出需要が増大する構造的な問題があり、従来の枠組みにとらわれない財政改革を確実に実行できるかが財政健全化の成否の鍵であると考え、行政改革の鍵であると考え、行財政改革に立ち向かう市長の決意を伺う。
**職員一丸となり、既成概念にとらわれず、行政自ら厳しく律しながら、組織のスリム化等に徹底して取り組む。職員の意識と組織風土改革、宮城陸上競技場の旧サブトラック問題について
岡南秋陵高校の将来構想**

問 宮城野原総合運動場のサブトラックの廃止について
関根 千賀子 委員

問 認知症に対する、本市のこれからの取り組みを伺う。
答 虐待防止マニュアルの策定に着手しており、今後も認知症に関する啓発、地域での支援体制整備、ケアの質の向上等の対策を推進したい。
**産学官連携したフィンランド健康福祉センターを
郷湖 健一 委員**

問 学校給食の地産地消の活用を、生産者・農協とどう連携協力しているのか。
答 地元農家から野菜等購入の際、農協からアドバイス等の協力をいただき、安定的な購入を進めている。
**松森工場とスポパーク松森が、一層活躍できる環境整備や仕組みづくりをどう考えるか
佐藤 嘉郎 委員**

問 ニーズ等に合わせた的確な整備が必要と考え、地元主体の委員会で検討中である。国際化推進のため外国籍市民の意見も反映するべき。
答 今後は視覚に過度に依存しないごみ政策を目指す。資源物回収コスト削減に向け、回収方法を見直しは安孫子 雅浩 委員

問 今後新しく高齢者となる団塊世代を想定した生きがい対策への取り組みを伺う。
答 従来の趣味的活動から社会・地域貢献活動への支援等まで、新しい高齢者の生きがいづくりにつながる魅力的で多様な事業を検討したい。
横田 匡人 委員

問 失業者率上昇やフリーターの増加等、雇用の不安定さ
答 失業者率上昇やフリーターの増加等、雇用の不安定さ

公明党

問 会計・費目別の主な質疑項目
答 費目別の主な質疑項目
問 ガス工事の他の諸工事との連携、地域への周知、施工業者への指導を徹底せよ。
答 区役所と工事の連携を図り、周知・指導にも努める。きめ細かなコミュニケーション事業の積極的な展開
**交通局ホームページのパンフレット
総務費**

問 地元産業の育成に関する本市の考え方を示せ。
答 地元受注機会を増やすための施策に取り組む。国際交流のあり方と今後の取り組みについて
**市立高校への国際化に対応した学科の設置
健康福祉費
歩くボランティア活動**

問 スポパーク松森の事故では被害者への対応が事業者まかせになった。市民の安全まで民間に丸投げするPFI手法が原因ではないか。
答 契約上施設設置等の責任を負っているPFI事業者に対し、誠実に対応するよう申し入れを行い、随時状況確認を適切に対応してきた。児童館は地域ニーズに合った適正な広さで整備すべき希望者が多い学区に複数の放課後児童クラブの設置を
嵯峨 サタ子 委員

問 悪質リフォームを防止するため、工事をする際に施工主が必要なチェックを受ける「届出制度」の検討を。
答 効果や届出が、相談体制の拡充等の対応をする。



飼い主のマナー向上を

問 犬の散歩をしながら飼い主のマナーアップを図る仕組みを作ってはどうか。
答 大変有意義な提案なので、今後、地域のマナーアップ運動を呼びかけていく。
問 アスペクト被害防止のため施設解体時には周辺住民に十分な周知や配慮をすべき。
答 解体現場での表示や飛散防止対策を実施している。

問 二十四時間対応の精神科救急医療体制の早期整備
**動物愛護基本指針の「パブリックコメント」の告知強化
環境費**

問 契約上施設設置等の責任を負っているPFI事業者に対し、誠実に対応するよう申し入れを行い、随時状況確認を適切に対応してきた。
**児童館は地域ニーズに合った適正な広さで整備すべき希望者が多い学区に複数の放課後児童クラブの設置を
嵯峨 サタ子 委員**

問 悪質リフォームを防止するため、工事をする際に施工主が必要なチェックを受ける「届出制度」の検討を。
答 効果や届出が、相談体制の拡充等の対応をする。

問 新しい岡南秋陵高校で科目履修制度の導入を図る。小学校の空き教室を活用した児童館等の整備推進
**行政事業の仕分けの検討
PFI手法の試行
市営陸上競技場の設置**

問 温暖化防止促進のため、マイバツク運動や環境家計簿等の市職員による率先垂範
**地域商店街の振興に向け、市・県・国の支援策の連携を
土木費
市営住宅に同居時の身元引受人の免除の取り組み
民間住宅の借上げの検討
公園愛護協会の活動促進
街路樹管理の里親制度
教育費**

問 学校校庭の芝生化について課題を示せ。
答 芝生の選定、植栽、維持管理の手法や経費等である。
問 自主財源の拡充に向け取り組みを問う。
答 市税収入確保に加え、財産収入の拡充策に取り組む
**総務質疑
問** 高等学校でシニア世代が学べる制度を導入すべき。

問 バスやタクシー等生活交通を政策化し、秋保・坪沼地域の市民の足を守るべき。
答 様々な課題はあるが、地域の方々と協議し本市の状況に合うあり方を検討する。
問 仙台空港アクセス鉄道開業に伴って急増する踏切遮断時間の影響を受ける住民への対策を求め。
答 JRに遮断時間短縮を働きかけ、既存道路へ分散化を図るなど渋滞緩和に努める。

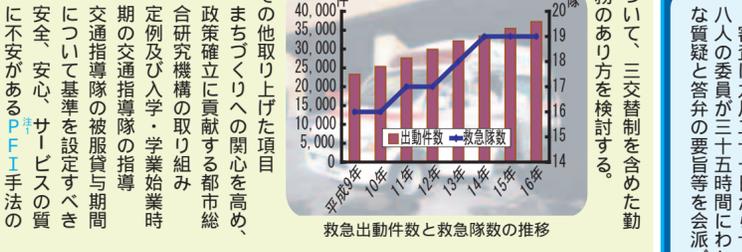
問 悪質リフォームを防止するため、工事をする際に施工主が必要なチェックを受ける「届出制度」の検討を。
答 効果や届出が、相談体制の拡充等の対応をする。

平成16年度 一般会計歳入決算の主な内訳

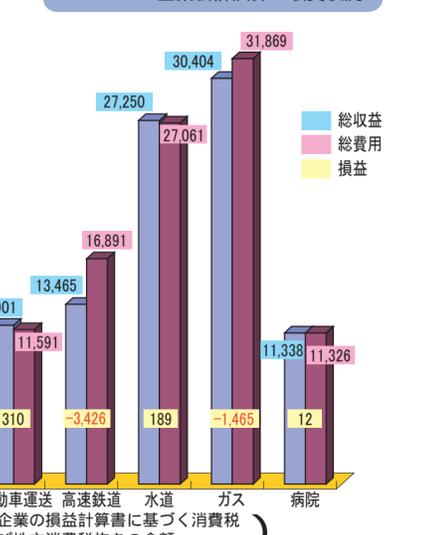
税	税	税	税	税	税	税	税	税	税		
市	164,862	41.0	市	56,412	14.1	市	48,847	12.2	市	36,452	9.1
市	56,412	14.1	市	31,693	7.9	市	63,400	15.7	市	401,666	100.0
市	48,847	12.2	市	31,693	7.9	市	63,400	15.7	市	401,666	100.0
市	36,452	9.1	市	31,693	7.9	市	63,400	15.7	市	401,666	100.0
市	31,693	7.9	市	31,693	7.9	市	63,400	15.7	市	401,666	100.0
市	63,400	15.7	市	31,693	7.9	市	63,400	15.7	市	401,666	100.0
市	401,666	100.0	市	31,693	7.9	市	63,400	15.7	市	401,666	100.0

平成16年度 一般会計歳入決算の主な内訳

歳入	歳入	歳入	歳入	歳入	歳入	歳入	歳入	歳入	歳入
歳入	395,075	歳入	28	歳入	10,051	歳入	1,660	歳入	28,027
歳入	395,075	歳入	28	歳入	10,051	歳入	1,660	歳入	28,027
歳入	395,075	歳入	28	歳入	10,051	歳入	1,660	歳入	28,027
歳入	395,075	歳入	28	歳入	10,051	歳入	1,660	歳入	28,027
歳入	395,075	歳入	28	歳入	10,051	歳入	1,660	歳入	28,027
歳入	395,075	歳入	28	歳入	10,051	歳入	1,660	歳入	28,027
歳入	395,075	歳入	28	歳入	10,051	歳入	1,660	歳入	28,027
歳入	395,075	歳入	28	歳入	10,051	歳入	1,660	歳入	28,027
歳入	395,075	歳入	28	歳入	10,051	歳入	1,660	歳入	28,027



問 救急出動件数の増加や業務範囲の拡大に対応するため、出動件数の多い救急隊に三交替制にすべきでは。
答 救急出動件数の増加や業務範囲の拡大に対応するため、出動件数の多い救急隊に三交替制にすべきでは。



問 営協議会を設置予定であり、一般車両移送に係る特区申請に向け、現行水準確保を念頭に必要の対応を図りたい。
答 市民読書環境の充実のため図書館の整備と適正配置及び品質の向上を